

# 楠まちづくり新聞

つながる会  
発行  
会長  
玉崎和実  
事務局  
白井春夫  
広報部  
高石正憲

## 楠小学校区つながる会

### 安全・安心で助け合える地域の絆づくり

12月8日（日）の8時30分に中央構造線断層帯度6強を記録した、と想定し「楠小学校区つながる会」が主催し諸団体と協力し合って防災訓練を実施しました。

## 第五回防災訓練 結果報告

参加団体は27団体（組織）255名（内子ども13名）の参加者が有りました。

訓練の内容は避難所開設訓練からスタートして、防災実技訓練は「子ども訓練」と「大人訓練」に大きく二つに分けました。最後にバケツリレーを全員で行い、非常食を試食して12時過ぎに終了しました。

アンケートの実施  
回収率46%

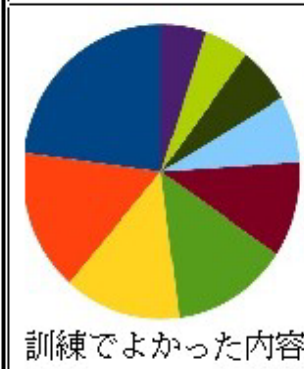
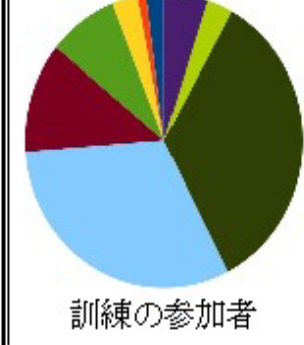
参加者は男性47%、女性53%と女性の方の積極的な参加がみてとれます。

年代別の参加者の割合は60歳代の方と70歳代の方で6割を占めています。40歳代と50歳代そして80歳代の方で2割強です、どうしても若い方の参加者が少ない傾向がみられます。

次に訓練内容については、一番評判の良かった訓練は新たに追加した「天ぷら油火災消火訓練」でした。圧倒的な火力を前に残ったと思われ、2番人気の「水防・土のう訓練」も今回新たに追加した訓練項目の一つでした。



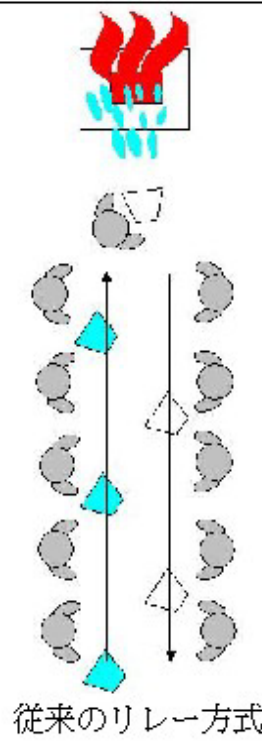
出来るだけ参加者が顔見知りになればと思い、近隣の自治会（町会）同士をグループピングして三つに分けました。



## 訓練で新たに経験しました バケツリレー 土のう作成

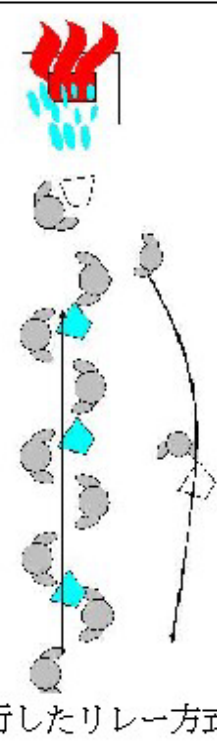
地震等による大規模災害の発生時には消防隊も自衛隊も直ぐには来られません、あるいは自分たちで初期消火の対応が必要になります。

初期消火の手段として「つながる会」の防災訓練では訓練の最後には毎回全員でバケツリレーを行ってききましたが、今回新しいリレー方式を採用してみました。



基本的に1列に並び、水の入ったバケツをリレー方式で順次前方に手渡しします。水をかけるのは最前列の一人です。

手渡しの際にバケツから水が零れ落ちることが多いため、半分の方は空になったバケツを元に戻します。



2列で向かい合って並びます。立ち位置を交互にずらして並びます。バケツを前方に送る際に、向かい側の人が手を添えて水が零れない様に元に戻します。

### その他の注意点

リレー方式の変更が徹底される前にバケツリレーが始まってしまい、軌道修正に手間取りました。

全員への周知徹底と開始図の大切さに気づきました。



川砂を2トン、土のう袋を200枚購入しました。



スコップ5本を使って交互に川砂を袋に詰めました。



土のう作成の重要ポイントには袋の口の締め方です。ヒモを引くと袋の口は窄まります。親指を袋に添えて、親指の上から2回または3回ヒモを輪のように巻き付けます。

最後に親指を抜き、抜いた隙間にヒモを通し、そのヒモで袋の口を縛ると完成です。



訓練の終了後、詰めた砂全部を子どもたちが使えるように小学校の砂場に戻しました。

# 地域ワークショップ報告

令和元年10月28日と12月2日の2回に分けて「地域ワークショップ」が開催されました。開催の目的は、地域の

「まちづくり」は第5次総合計画の地域別計画に従って推進してまいります。

「地域福祉」は第3次地域福祉計画と第2次地域福祉活動計画の基本目標に基づいて推進してまいります。地域としての具体的な例は「地域懇談会での主な意見」に集約されています。

全ての計画は平成28年度にスタートしており、現在は4期目に当たりま

## 地域ワークショップの概要 【楠小学校区】



第5次総合計画後期基本計画  
第4次地域福祉計画・第3次地域福祉活動計画

現在推進中の第5次総合計画は政策企画課のホームページを参照願います。

第3次地域福祉計画と第2次地域福祉活動計画は高齢福祉課のホームページを参照願います。

# ライオンズマンション千代田 消防・防災訓練 報告

12月1日に、河内長野市消防署並びに危機管理課のご協力を得て消防・防災訓練を実施しました。

午前10時に、「マンション集会所横の和室で火災が発生」と想定し、以下の訓練を実施しました。

- ①通報・連絡訓練
- 119番訓練通報と非常ベルの操作、マンション管内に訓練火災放送を行う
- ②初期消火訓練
- 出火想定場所に消火器を持って駆けつけ、訓練消火を行う
- ③避難訓練
- 階段を使って避難訓練を行う
- ④はしご車搭乗訓練
- 管理組合の代表1名がはしご車に搭乗し訓練救助を体験する
- ⑤初期消火訓練
- 水消火器を使い初期消火訓練を行う



河内長野市消防署のはしご車と消防署員

また、間近にはしご車を見ることができ、年齢を問わずかっこいいなとワクワクした人もいたようです。消防署員が高所で消火・救助作業を行っているのは、日ごろの訓練のたまものだと感じました。

消防訓練終了後、マンションの集会所で河内長野市危機管理課北浦さんに「防災力は市民が主役」をテーマに講演をしていただきました。

昨年、大阪を直撃した台風21号を振り返り「自分分がしたこと」「今の自分ができること」を受講者が考え意見交換するなど工夫を凝らした講演をしていただきました。自らの防災について考え、災害に備えることの大切さを理解できました。

講演終了後、防災備品倉庫にどのようなものが備蓄されているかを見学しました。また、防災備品の「テント付き簡易トイレ」を訓練参加者が、自分の手で組み立て訓練を行いました。みんな、ワイワイと言いつつテントを組み立てたのは思いのほか楽しいものでした。

その後、簡易トイレを分解、防災備品倉庫に収納し12時30分ごろにすべての訓練を終了しました。今後、防災備品の在庫管理、消耗品の補充を行って、災害時に備えていきたいと思えます。

最後に、河内長野市消防署並びに危機管理課の皆様のご協力により、防火・防災訓練を行うことができました。

井田 俊郎



「防災力は市民が主役」の講演



はしご車搭乗訓練

### 編集後記

まちづくり新聞の第二十四号をお届けします

メール [kusunoki.info@gmail.com](mailto:kusunoki.info@gmail.com)

<https://ksrd.jp/kusunoki/>

つながる会

検索